

トビウオ通信 (H26 第4号)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/> (TEL 0855-22-1720)

《平成 26 年度第 1 回日本海スルメイカ漁況予報》

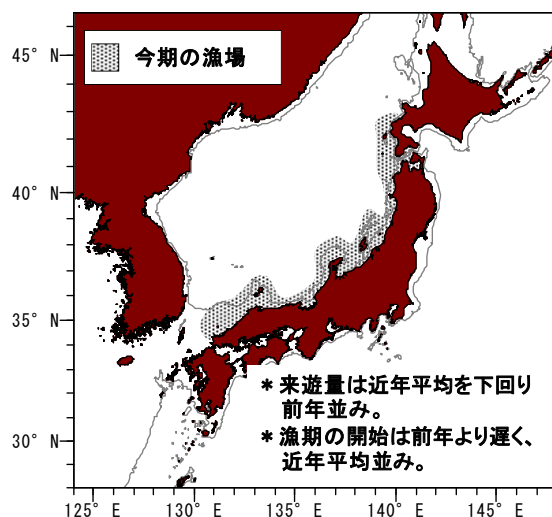
平成 26 年 4 月 30 日に水産庁および独立行政法人水産総合研究センター（日本海区水産研究所）より「平成 26 年度第 1 回日本海スルメイカ長期漁況予報 ※¹」が発表されました。今回はその概要と島根県沖でのこれまでのスルメイカ漁況を紹介します。

今後の見通し(平成 26 年 5 月～7 月)のポイント

対象魚種：スルメイカ
対象海域：日本海
対象漁業：主にいか釣り漁業
対象魚群：主に秋季発生系群

- (1) 来遊量：近年平均を下回り、前年並み。
- (2) 漁期：漁期の開始は前年より遅く、近年平均並み。
- (3) 魚体の大きさ：前年および近年平均並み。

* 近年は最近 5 年間(平成 21 年～平成 25 年)



(1) 来遊量

平成 25 年 10 月～11 月に実施された日本海スルメイカ稚仔分布調査では、スルメイカの幼生分布量は前年・近年平均を下回る状況でした。また、平成 26 年 4 月に実施された漁期前調査（スルメイカ新規加入量調査）では、今期に漁獲が期待されるサイズのスルメイカの分布量は、近年平均を下回り、前年並みの状況でした。こうした調査結果から、今期（5 月～7 月）の来遊量は「**近年平均を下回り、前年並み**」と予測されています。

(2) 漁期

漁期については、①前年（平成 25 年）は 5 月中旬以降、水温の上昇が早く、魚群の移動が速か

った事、②今後（4月～6月）の海水温が「平年並み」（平年は過去30年の平均値）で経過すると
の海況予測（第1回日本海海況予報^{※2}、独立行政法人水産総合研究センター平成26年4月7
日公表）から「**漁期の開始は前年より遅く、近年平均並み**」と予測されています。

（3）魚体の大きさ

魚体の大きさは、平成26年4月に実施された漁期前調査（スルメイカ新規加入量調査）による
漁獲物サイズの状況から「**前年および近年平均並み**」と予測されています。

※1、※2の全文は以下をご覧ください。

※1：http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/sigen/pdf/140430_1-01.pdf（水産庁のホームページより）

※2：<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr26/20140407/20140407.pdf>（水産総合研究センターのホームページより）

島根県沖でのスルメイカ漁況

主要3港（浜田、恵曇、西郷）における小型
イカ釣（5トン以上30トン未満）によるスル
メイカの月別の水揚動向を図1に示しました。
平成26年の1月～2月までの水揚量は190ト
ンで、前年・近年平均を下回る漁況で経過し
ています（前年比49%、近年平均比71%）。

日本海では、1月～3月は主にスルメイカ冬
季発生系群が漁獲されますが、本県では近年
は低調な水揚状況が続いています。これは海

水温等の条件によりスルメイカの南下経路が従来よりも沖合寄りに変化し、島根県沿岸域へのス
ルメイカの来遊量が少なくなっていることが原因と考えられます。

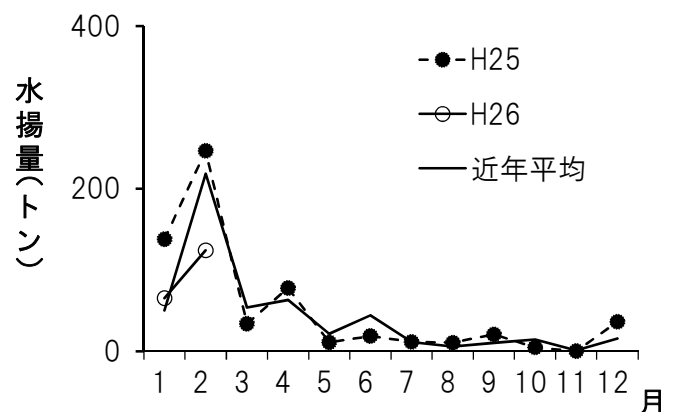


図1. 主要3港(浜田、恵曇、西郷)におけるスルメイカの水揚動向